



中東情勢やクマの問題、世界は問題にあふれており、次世代を担う若い人たちは問題解決能力がさらに求められています。当センターもその責任の一端を担うべく、学校図書館及び学校図書館活用教育を支援していきたいと思っております。

昨年度に実施した学校図書館支援センターの活動報告をいたします。

2025年度 学校図書館支援事業紹介

事業名	実施状況
図書館見学の受入	小学校： 10 校 幼稚園 1 園
職場体験の受入	中学校： 9校（18人）
出前講座	小学校：10校（25回） ※軽野小 須田小 波崎小 横瀬小 息栖小 等
学校図書館環境整備	対象校：神栖第1中学校（12月）
調べ学習用図書 セット貸出	小学校貸出数：85回 中学校貸出数：1回 〈合計86回〉 ※テーマ別利用回数ベスト3 「擬態」「食品加工」「職人・工芸」
配本図書事業 （読み物）	配本先：42ヶ所 （小中学校 22 校 幼稚園・保育園20 園） ※貸出冊数：31,100冊
学校★（ほし）ほん お届けサービス	実施校：小学校14校 中学校6校 高等学校1校 〈計 21 校〉 貸出冊数：4,279冊（月平均：389.0冊 1人当：0.17冊） 配送回数173回

2025年度 一人当たりの貸出冊数伸び率**BEST1** に

小学校では軽野東小学校、中学校では神栖第3中学校が輝きました！



学校名	2023年度	2024年度	2025年度	伸び率	全国平均
軽野東小学校	25.7冊	35.2冊	42.9冊	1.7倍	小学校49冊
神栖第3中学校	6.8冊	9.2冊	13.0冊	1.9倍	中学校 9冊

【各学校に聞いてみました。】

働き方改革を受け、教育課程に合った読書スタイルの構築に努めました。特に本バッグをフルに活用し、いつでも読書できる環境作りを全職員で徹底しています。 軽野東小学校

国語の授業を中心として学校図書館を積極的に活用しています。また4月には、全学級オリエンテーションを実施しています。今年度は、学校図書館支援センターから配布された指導案を基に「本探しゲーム」を行いました。生徒には、興味がある本だけでなく様々な本に触れ合うことができるよう、常に意識した指導に努めています。『新たな本に出会える図書館』をテーマに、学校司書と協力しながら取り組んでいます。 神栖第3中学校



生成 AI と本（読書）

先日、朝のニュース番組で ChatGPT を取り上げていました。その中でインタビューに笑顔で答える高学年男児の声が、私の耳に飛び込んできました。「友だちと喧嘩をしてしまった時、仲直りの仕方を ChatGPT に相談したら、友だちと仲直りできてうれしかったです。」小学生であっても、既に ChatGPT が日常化しているのだと改めて実感したと共に、図書館で働く私にとっては実に寂しい話題でした。

読書には様々な効果があります。先程の男児を例にあげれば、「悩みや課題を解決するヒントが得られる効果」「失敗を減らして、成功の確率が上がる効果」が当てはまると思います。読書経験で得た類似体験がヒントとなり、自分の生活に生かすことができます。また、様々な人物の成功談や失敗談の経験から得たスキルや教訓などから、成功の確率をアップさせたりすることができます。読書は、語彙力やコミュニケーション力を向上させるだけでなく、自分の背中を推してくれるツールにもなり得ます。私は、本にかなり助けられ、今日があると思っています。

「AI 時代を生きる子どもたちが、生成 AI をはじめとするテクノロジーをツールとして使いこなし、一人一人が才能を開花できるようになることは重要であり、生成 AI の学校における利活用は、そのための手助けになり得るものである。」と文科省のガイドラインには示されています。しかし「時に、AI が事実に基づかない回答を示すこともある。」とも新聞で読んだことがあります。全てを信じてしまうにはリスクが高いです。簡単に回答が得られる生成 AI を参考資料の一つとして考え、本（読書）と AI を上手に活用していったほしいと願います。

学校図書館アドバイザー

高田 悦子

学校図書館（読書）活用例

【アニメーション】…絵本を使ったゲーム

ねらい・効果

子どもたちに読書の楽しさを伝え、子供達が生まれながらに持っている読む力を引き出そうと開発・体系化した読書指導法の一つ。聞くだけの読書ではなく、子どもたち自身が参加できる遊びの要素を取り入れたスタイル

今回2年生のオリエンテーションに取り入れてみました。

<2つの方法>

①読み間違え

1度目は普通に読み、2度目に間違って読む。間違っていると思ったら、子どもたちに手を挙げさせる。※誰もが知っている読み物がいい。教科書にある読み物も可。

②クイズ

最初に問題を伝え、読み聞かせが終わった時点でクイズを出す。

例『どうぞのいす』 香山美子作

「いすにすわった順に、動物の名前をいいます。」

1学期の学校図書館支援センターの主な動き



○統計報告の提出

毎月10日 ※FAX可です！

○定期巡回 6～7月に1回訪問予定
(訪問日は巡回スケジュール参照)

○学校図書館アドバイザー訪問
(6月26日まで)

○図書購入2回目

6月第2週：購入依頼書の配布

7月第1週：購入依頼書の提出メ切

○配本の予定 第2回目

波崎方面：配本 回収 7/15(水)

神栖方面：配本 回収 7/16(木)

ほし

○学校★ほん最終貸出日
7/15(水)・7/16(木)

